



戸来 伝  
(市民連合クラブ)

## ドローン活用方法の

### 具体的な検討結果は 災害対応、農業・観光など さまざまな活用が見込める

**議員** 9月議会で提  
言したドローンの活用  
について、どのような  
方法を見出したのか。

**副市長** 11月25日にド  
ローンイノベーション  
ネットワークと「災害  
時における無人航空機  
による情報収集活動等  
に関する協定」を締結  
し、災害時の情報収集、  
災害地図の作製支援、  
孤立地域への救援物資  
の輸送活動などの活用  
を想定しています。

**農林商工部長** 農業分  
野では農薬散布など幅  
広い作業の効率化が期  
待され、観光分野では  
普段見ることのできな  
い動画や画像を観光情  
報の発信に活用するこ  
とで、さらに誘客促進

を図りたいと考えます。

**議員** 災害救助活動  
に重要な、はしご車を  
更新する考えは。

**市長** 購入後26年経  
過していますが、適正  
なメンテナンスにより  
令和2年までは使用可  
能です。十和田地域広  
域事務組合から緊急防  
災・減災事業債が活用  
できるとの報告があり、  
管理者として消防本部  
に新年度車両更新の予  
算化を指示しています。

**議員** 企業の協力の推移を見守  
る立場であり、跡地活  
用は検討していません。

**議員** 地区の消防の  
分署にする考えは。

**総務部長** 跡地利用に  
ついて申し上げる立場  
にありません。

**議員** 企業誘致の話  
は、地元の反対もあり  
困難だと考えている。  
市が取得しての有効活  
用を提言したい。

**議員** 旧農林総合研  
究所藤坂稲作部跡地を  
藤坂・四和地区のコ  
ミュニティセンターに  
する考えは。

**民生部長** 市は県産業  
技術センターと民間企

業の協議の推移を見守  
る立場であり、跡地活  
用は検討していません。



藤坂稲作部跡地の有効活用を

## 社会保障費の今後の 見通しは

### 増加傾向のため 着実な財政運営に努める



石橋 義雄  
(自民公明クラブ)

**議員** 少子高齢化が  
進む中、市財政の社会  
保障費の見通しは。

**市長** 扶助費の増加  
が特に見られ、今後も  
増加傾向と推計されま  
す。財源確保や一般財  
源の抑制など財政基盤  
を強化し、着実な財政  
運営に努めます。

**議員** 今後、介護施設  
の開設や利用者の増  
加が見込まれる。保険  
料の推移は。

**関係部長** 人口減少や  
高齢化が現状のまま推  
移した場合のシミュ  
レーション結果は、左  
表のとおりです。

**議員** 鞍出山穴堰が  
文化財に指定されな  
かった理由と審議状  
況の詳細は。

**教育長** 文化財保護審  
議会で3回の審議を重  
ねた結果、全会一致と  
ならなかったため指定  
しないことになりました。  
審議会では「歴史

を伝える貴重な資料」  
「当時の技術資料とし  
て重要」「安全面に不  
安があるが、改修すれ  
ば文化財としての価値  
が失われる」など、賛  
否両論の意見が出され  
ました。

**議員** 市文化財の指  
定要件は。

**教育部長** 有形文化財、  
工芸技術、民俗芸能そ  
の他の無形文化財、史  
跡名勝天然記念物等が  
対象で、歴史・学術上  
の価値が高いものが条  
件です。指定の答申は  
文化財保護審議会での  
全会一致が原則です。

制度区分		令和5年度	令和10年度
介護保険	介護給付費	約73億円	約78億円
	1人当たりの 基準月額	7,987円	8,996円
後期高齢 者医療	医療給付費	約80.5億円	約97.1億円
	1人当たりの 年保険料	約54,000円	約57,000円

**議員** 鞍出山穴堰が  
文化財に指定されな  
かった理由と審議状  
況の詳細は。

**教育長** 文化財保護審  
議会で3回の審議を重  
ねた結果、全会一致と  
ならなかったため指定  
しないことになりました。  
審議会では「歴史

を伝える貴重な資料」  
「当時の技術資料とし  
て重要」「安全面に不  
安があるが、改修すれ  
ば文化財としての価値  
が失われる」など、賛  
否両論の意見が出され  
ました。



鞍出山穴堰の市文化財指定を